

科目区分	専門分野	科目名	地域における健康支援	対象学生	第2学年
		単位数(時間数)	1単位(30時間)	学期	第1学期
担当講師	横山里佳子(臨床経験13年、教育経験13年)				
科目目標	<p>1. 個人や家族が、地域とのかかわりの中で健康の保持増進、疾病を予防するための支援について理解する。</p> <p>2. 個人や家族が健康課題を解決するための効果的な資源について理解する。</p> <p>3. 健康課題を解決するための看護援助として、必要な内容や方法を理解できる。</p>				
授業計画	<p>第1回 地域における暮らしを支える看護～「地域と暮らし」の学び～(GW)</p> <p>1) 健康の保持増進、疾病予防のための支援</p> <p>(1) 個人や家族が抱える健康課題</p> <p>(2) 個人や家族が抱える健康課題を解決するための資源</p> <p>(3) 地域が抱える健康課題</p> <p>2) 生活の場に応じた看護とサービスの課題</p> <p>第2回 地域における暮らしを支える看護～「地域と暮らし」の学び～(GW、発表)</p> <p>第3・4回 地域の健康課題を解決するために活用できる資源(GW、発表)</p> <p>1) 健康のとらえ方</p> <p>2) 地域が抱える健康課題の明確化</p> <p>「地域と暮らし」からみえてきた健康保持・増進のための課題</p> <p>2) 地域で暮らしつづけるために必要な社会資源と活用方法</p>	<p>第5回 地域療養を支える看護の役割と機能(講義)</p> <p>1) 社会資源の理解と活用、自助・互助・共助の理解と看護の役割</p> <p>第6・7回 生活の場に応じた看護とサービスの課題(講義、GW)</p> <p>1) 善通寺市における地域包括ケアシステム、多職種連携</p> <p>2) 療養の場へ移行する人、地域で療養する人</p> <p>3) 医療機関への入退院する人、介護施設と医療機関を行き来する人</p> <p>第8・9回 生活の場に応じた看護とサービスの課題(発表)</p> <p>第10～12回 私たちが考える地域の健康支援と看護(GW、発表)</p> <p>・生活の場に応じた看護とサービスの課題に対する健康支援と看護</p> <p>第13～15回 地域におけるライフステージに応じた看護(GW、発表)</p> <p>・あらゆるライフステージによる健康課題と予防</p> <p>学童期、青年期、壮年期、老年期</p>			
評価方法	筆記試験、課題レポート				
テキスト	<p>系統看護学講座 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論1 医学書院</p> <p>系統看護学講座 地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論2 医学書院</p>				
講師からのメッセージ	<p>本科目は在宅看護だけでなく臨地実習で学ぶ基盤となる。地域で暮らす人々、その個人や集団が持つ力を引き出しながら、自らの健康問題に気づき、対処行動がとれるように健康支援を学ぶ。また、地域での看護実践のために必要な多職種連携、活用できる社会資源についても学ぶ。国家試験出題基準を確認し学習すること。</p>				